

Latitude 5510

セットアップと仕様

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Chapter 1: コンピュータのセットアップ	5
Chapter 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
Chapter 3: シャーシの概要	8
ディスプレイ ビュー	8
左面図	9
右面図	9
パームレストの図	10
底面図	11
キーボードのショートカット	11
Chapter 4: 技術仕様	13
プロセッサ	13
チップセット	14
オペレーティング システム	14
メモリ	14
ストレージ	14
ポートとコネクタ	15
オーディオ	16
ビデオ	16
カメラ	16
通信	17
メディアカードリーダー	17
キーボード	18
タッチパッド	18
電源アダプター	18
バッテリー	19
寸法と重量	20
ディスプレイ	21
指紋認証リーダー	22
セキュリティ	22
セキュリティ ソフトウェア	22
コンピュータ環境	23
Chapter 5: ソフトウェア	24
Windows ドライバのダウンロード	24
Chapter 6: セットアップユーティリティ	25
ブートメニュー	25
ナビゲーションキー	25
ブート シーケンス	26
セットアップユーティリティのオプション	26
一般オプション	26

システム情報.....	27
ビデオ.....	29
セキュリティ.....	29
Secure Boot (安全起動)	30
インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ.....	31
パフォーマンス.....	31
電力管理.....	32
POST Behavior (POST 動作)	33
管理機能.....	33
Virtualization Support (仮想化サポート)	34
ワイヤレス.....	34
メンテナンス画面.....	34
システムログ.....	35
Windows での BIOS のアップデート.....	35
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	36
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	36
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	37
システム セットアップパスワードの割り当て.....	37
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	37
Chapter 7: ヘルプ.....	39
デルへのお問い合わせ.....	39

コンピュータのセットアップ

手順

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを終了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
メモ: セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。
	Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。

表 1. Dell アプリを見つける（続き）

Dell アプリ	詳細
	SupportAssist コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。  メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。
	Dell アップデート 重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。
	Dell Digital Delivery さまざまなソフトウェア アプリケーション（購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど）を、お使いのコンピューターにダウンロードします。

4. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

前提条件

-  **メモ:** このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。
-  **メモ:** 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

手順

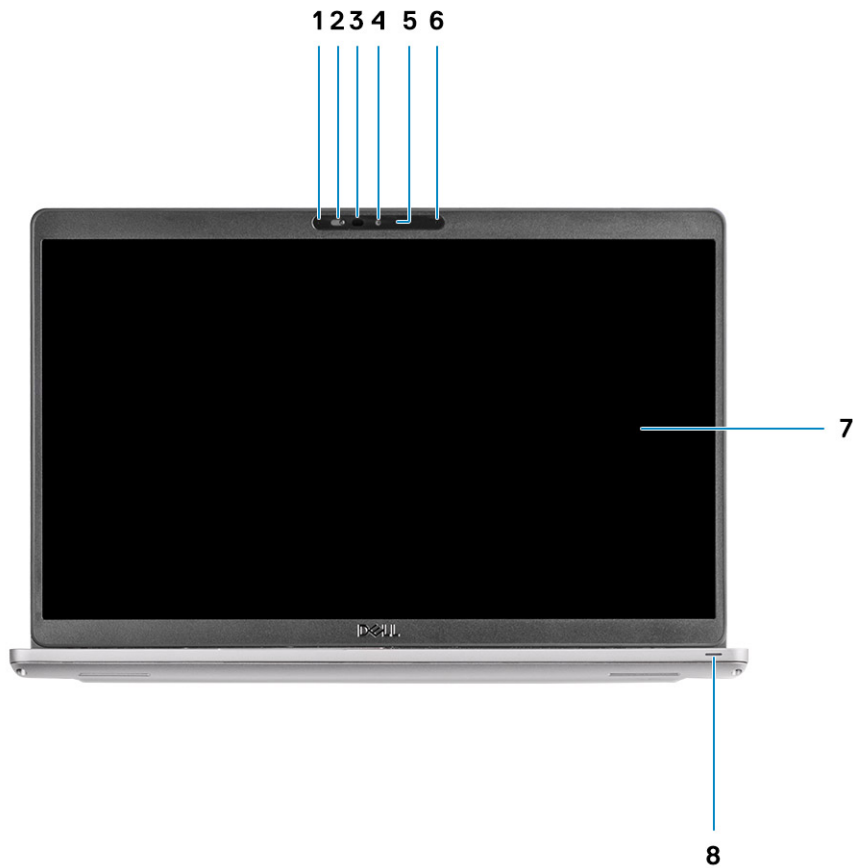
1. お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
2. Windows サーチに **回復** と入力します。
3. 検索結果で、**回復ドライブの作成** をクリックします。
ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。
4. **はい** をクリックして続行します。
回復ドライブ ウィンドウが表示されます。
5. **システムファイルを回復ドライブにバックアップします** を選択し、**次へ** をクリックします。
6. **USB フラッシュドライブ** を選択し、**次へ** をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
7. **作成** をクリックします。
8. **完了** をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『サービス マニュアル』で、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

シャーシの概要

トピック：

- ディスプレイ ビュー
- 左面図
- 右面図
- パームレストの図
- 底面図
- キーボードのショートカット

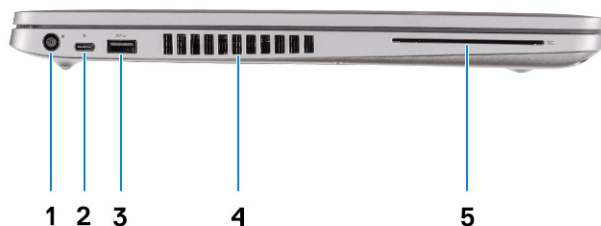
ディスプレイ ビュー



1. アレイ マイクロフォン
2. カメラ用シャッター
3. 赤外線 (IR) エミッタ (オプション)
4. カメラ
5. カメラステータスライト
6. アレイ マイクロフォン
7. ディスプレイ

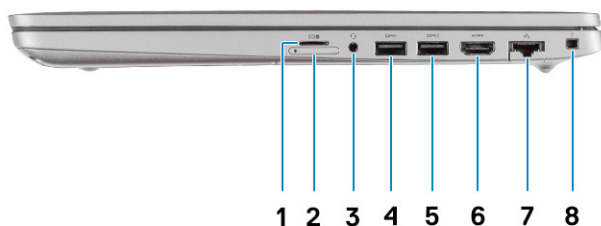
8. LED アクティビティー ライト

左面図



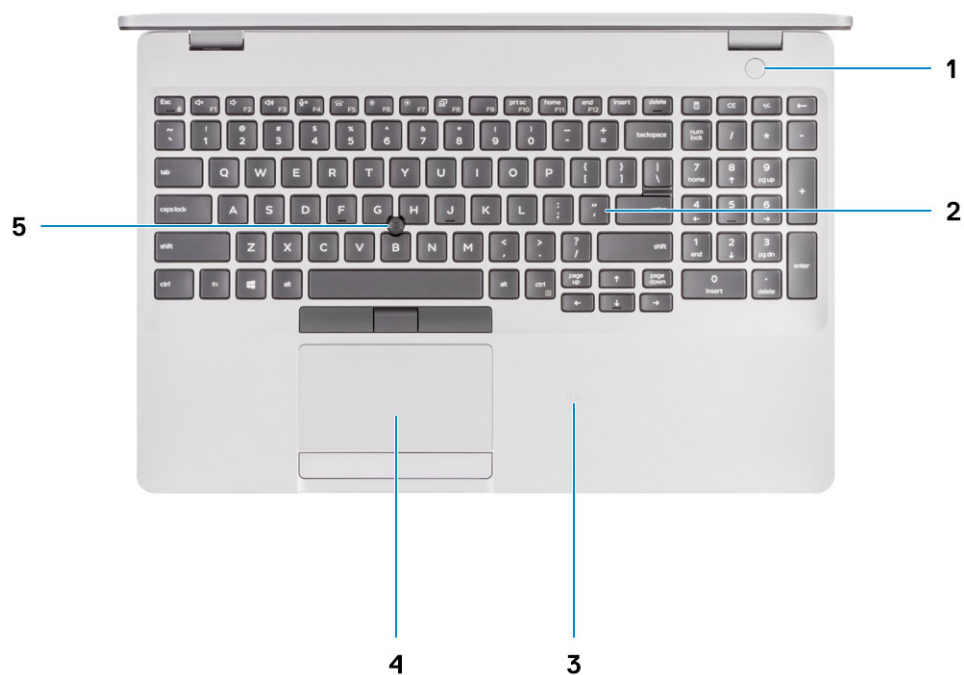
- | | |
|----------------------------|--|
| 1. DC 入力ポート | 2. USB 3.2 Gen 2 (USB Type-C) ポート (DisplayPort/Power Delivery/Thunderbolt 対応)(オプション) |
| 3. USB 3.2 Gen1 Type-A ポート | 4. 通気孔 |
| 5. スマート カード リーダー (オプション) | |

右面図



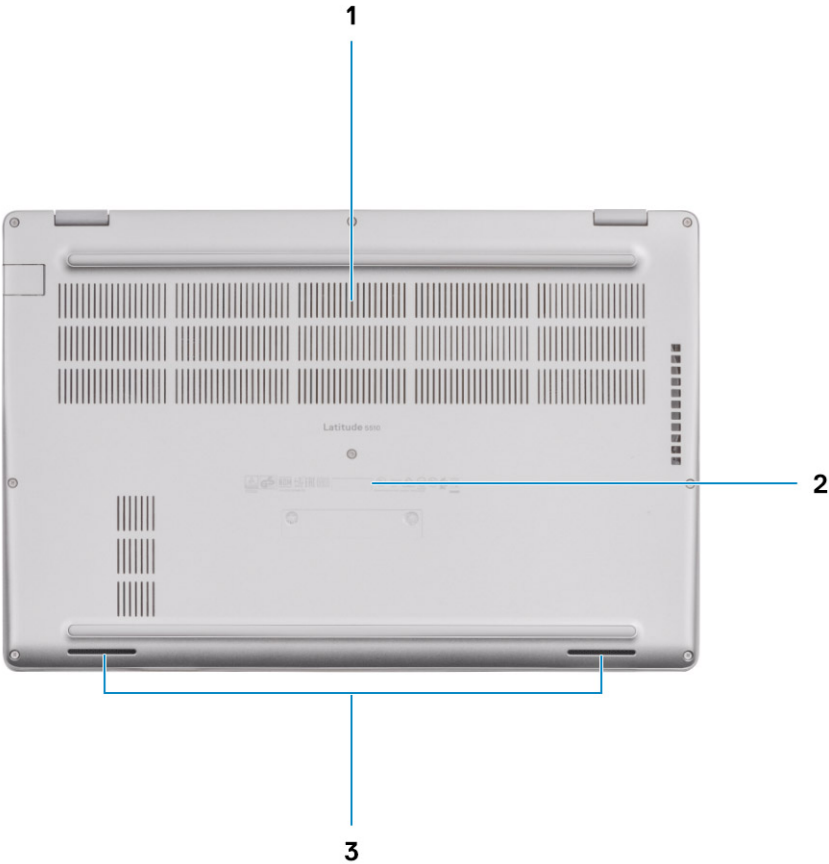
- | |
|---|
| 1. Micro SD カード スロット |
| 2. Micro SIM カード スロット |
| 3. ユニバーサルオーディオジャック |
| 4. USB 3.2 Gen1 Type-A ポート |
| 5. USB 3.2 Type-A ポート (PowerShare 対応) |
| 6. HDMI 1.4b ポート |
| 7. ネットワーク ポート |
| 8. くさび形セキュリティ スロット |

パームレストの図



1. 電源ボタン (オプションの指紋認証リーダー内蔵)
2. キーボード
3. NFC/非接触型スマートカード リーダー (オプション)
4. タッチパッド
5. トラックポイント

底面図



- 1. 通気孔
- 2. サービス タグの場所
- 3. スピーカー

キーボードのショートカット

① メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+キー)
Fn+Esc	戻る	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音	F1 の動作
Fn+F2	音量を下げる	F2 の動作
Fn+F3	音量を上げる	F3 の動作
Fn+F4	マイクを消音する	F4 の動作

表 2. キーボードのショートカットのリスト（続き）

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作（Fn+キー）
Fn+F5	キーボード バックライトをオン/オフにする	F5 の動作
Fn+F6	輝度を下げる	F6 の動作
Fn+F7	輝度を上げる	F7 の動作
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え	F8 の動作
Fn+F10	プリントスクリーン	F10 の動作
Fn+F11	ホーム	F11 の動作
Fn+F12	終了	F12 の動作
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く	--

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- プロセッサ
- チップセット
- オペレーティング システム
- メモリ
- ストレージ
- ポートとコネクタ
- オーディオ
- ビデオ
- カメラ
- 通信
- メディアカードリーダー
- キーボード
- タッチパッド
- 電源アダプター
- バッテリー
- 寸法と重量
- ディスプレイ
- 指紋認証リーダー
- セキュリティ
- セキュリティ ソフトウェア
- コンピュータ環境

プロセッサ

表 3. プロセッサ

説明	値				
プロセッサ	第 10 世代インテル コア i3 (10110U)	第 10 世代インテル コア i5 (10210U)	第 10 世代インテル Core i5 (10310U)	第 10 世代インテル Core i7 (10610U)	第 10 世代インテル Core i7 (10810U)
ワット数	15 W	15 W	15 W	15 W	15 W
コア数	2	4	4	4	6
スレッド数	4	8	8	8	12
速度	2.10 GHz ~ 4.10 GHz (非 vPro)	1.6 GHz ~ 4.20 GHz (非 vPro)	1.7 GHz ~ 4.40 GHz (vPro)	1.8 GHz ~ 4.90 GHz (vPro)	1.1 GHz ~ 4.90 GHz (vPro)
キャッシュ	4 MB	6 MB	6 MB	8 MB	12 MB
内蔵グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス

チップセット

表 4. チップセット

説明	値
チップセット	Intel
プロセッサ	Comet Lake
DRAM バス幅	2 チャンネル、64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB (vPro 構成用) 24 MB (非 vPro 構成用)
PCIe バス	最大 Gen 3

オペレーティング システム

- Windows 10 Home (64 ビット)
- Windows 10 Professional (64 ビット)
- Ubuntu 18.04 LTS (64 ビット)
- NeoKylin 7.0 SP4 (PRTS)

メモリ

表 5. メモリの仕様

説明	値
スロット	SoDIMM (2)
タイプ	DDR4
速度	インテル第 10 世代では、3200 Mhz は 2667 MHz で作動
最大メモリ	32 GB
最小メモリ	4 GB
サポートされている構成	4 GB DDR4、2667 MHz (1 x 4 GB) 8 GB DDR4、2667 MHz (2 x 4 GB) 8 GB DDR4、2667 MHz (1 x 8 GB) 16 GB DDR4、2667 MHz (2 x 8 GB) 16 GB DDR4、2667 MHz (1 x 16 GB) 32 GB DDR4、2667 MHz (2 x 16 GB)

ストレージ

お使いの PC では、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- ソリッドステートドライブ用 M.2 2230/2280 スロット (1)

PC のプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。PC に

- M.2 ドライブが搭載されている場合、M.2 ドライブがプライマリー ドライブです。

表 6. ストレージの仕様

フォームファクタ	インターフェイスのタイプ	容量
2.5 インチ x 1 ハード ドライブ	SATA、5400/7200 RPM	最大 1 TB
M.2 2230 ソリッドステート ドライブ (1)	PCIe Gen 3 x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB
M.2 2280 ソリッドステート ドライブ (1)	PCIe Gen 3 x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 1 TB

ポートとコネクタ

表 7. 外部ポートとコネクター

説明	値
外部 :	
ネットワーク	1 フリップダウン RJ-45 ポート
USB	2 x USB 3.2 Gen1 Type-A ポート 1 x USB 3.2 Type-A ポート (PowerShare 対応) 1 x USB 3.2 Gen2 Type-C ポート (DisplayPort Alt モード/Thunderbolt 3 対応)
オーディオ	ヘッドセット (ヘッドホンとマイクロフォンのコンボ) ポート (1)
ビデオ	1 x HDMI 1.4b ポート 1 USB Type-C での DisplayPort 1.2 ポート
電源アダプターポート	7.4 mm バレルタイプ 1 USB Type-C での PowerDelivery 3.0 ポート
セキュリティ	セキュリティケーブル スロット (ウェッジ型) (1)
カード スロット	microSD カード スロット
SIM カード	uSIM カード スロット

表 8. 内部ポートとコネクター

説明	値
内部 :	
1 x ソリッドステート ドライブ用 M.2 Key-M (2280 または 2230) 1 x WWAN 用 M.2 3042 Key-B 1 x WLAN 用 M.2 2230 Key-E	- ソリッドステート ドライブ (128 GB/256 GB/512 GB) 用 M.2 2230 スロット x 1 - ソリッドステート ドライブ (256 GB/512 GB/1 TB) 用 M.2 2280 スロット x 1 - 自動暗号化ソリッドステート ドライブ (256 GB/512 GB) 用 M.2 2280 スロット x 1 メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、サポート技術情報記事 SLN301626 を参照してください。

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

説明	値
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro 搭載 Realtek ALC3204
ステレオ変換	24 ビット DAC (デジタル/アナログ変換) および ADC (アナログ/デジタル変換)
内部インターフェース	インテル HDA (ハイデフィニッション オーディオ)
外部インターフェース	ユニバーサルオーディオジャック
スピーカー	2
スピーカー出力の平均値	2 W
スピーカー出力の最大値	2.5 W

ビデオ

表 10. 専用グラフィックス カードの仕様

専用グラフィックス カード			
コントローラ	外部ディスプレイ対応	メモリー サイズ	メモリのタイプ
AMD Radeon RX 640	NA	2 GB	GDDR5

表 11. 内蔵グラフィックの仕様

内蔵グラフィックス			
コントローラ	外部ディスプレイ対応	メモリー サイズ	プロセッサ
インテル UHD グラフィックス	1 x HDMI 1.4b ポート 1 x USB 3.1 Gen2 Type-C ポート (DisplayPort Alt モード/Thunderbolt 3 対応)	共有システム メモリー	第 10 世代インテル Core i3/i5/i7

カメラ

表 12. カメラの仕様

説明		値
カメラの数		1 回
タイプ		RGB、HD 固定フォーカス
場所		前面カメラ
センサーのタイプ		CMOS センサーテクノロジー
解像度 :		
	静止画像	2 メガピクセル

表 12. カメラの仕様（続き）

説明		値
	ビデオ	HD 解像度 (1280 x 720) (30 fps)
対角視野角		78.6 度

通信

イーサネット

表 13. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	- vPro CPU 構成向けのインテル Ethernet 接続 I219LM - トランザクション CPU 構成向けのインテル Ethernet 接続 I219V
転送レート	10/100/1000 Mbps

ワイヤレス モジュール

表 14. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値		
Model number (モデル番号)	Qualcomm QCA61X4A	インテル Wi-Fi AX201	インテル XMM 7360 Global LTE-Advanced
転送レート	最大 867 Mbps	最大 2.4 Gbps	最大 450 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz	5 GHz
ワイヤレス規格	- Wi-Fi 802.11a/b/g - Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) - Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac)	- Wi-Fi 802.11a/b/g - Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) - Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac) - Wi-Fi 6 (Wi-Fi 802.11 ax)	802.11ac
暗号化	64 ビットおよび 128 ビット WEP 128 ビット AES-CCMP - TKIP	64 ビットおよび 128 ビット WEP 128 ビット AES-CCMP - TKIP	64 ビットおよび 128 ビット WEP 128 ビット AES-CCMP - TKIP
Bluetooth	5	5.1	無

メディアカードリーダー

表 15. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	Micro SD カード スロット

表 15. メディアカードリーダーの仕様（続き）

説明	値
サポートされるカード	• Micro Secure Digital (mSD) • マイクロ セキュア デジタル高容量 (mSDHC) • Micro Secure Digital Extended Capacity (mSDXC)

キーボード

表 16. キーボードの仕様

説明	値
タイプ	• シングル ポインティング (バックライトなし) • デュアル ポインティング (バックライト付き)
レイアウト	QWERTY
キーの数	• 米国とカナダ : 81 キー • 英国 : 82 キー • 日本 : 85 キー
サイズ	X = 19.05 mm キー ピッチ Y = 19.05 mm キー ピッチ
ショートカットキー	キーボードのキーの中には記号が 2 つ書かれているものがあります。そのキーを使用して代替文字を打つ、または二次機能を実行することができます。代替文字を打つには、Shift キーと希望するキーを押します。二次機能を実行するには、Fn キーと希望するキーを押します。

タッチパッド

表 17. タッチパッドの仕様

説明	値
解像度 :	
水平方向	1221
垂直方向	661
寸法 :	
水平方向	101.70 mm (4.00 インチ)
垂直方向	55.20 mm (2.17 インチ)

電源アダプター

表 18. 電源アダプターの仕様

説明	値			
タイプ	65 W	90 W	65 W Type-C	90 W Type-C

表 18. 電源アダプターの仕様（続き）

説明		値			
直径（コネクター）		22 x 66 x 106 mm	22 x 66 x 130 mm	22 x 66 x 99 mm	22 x 66 x 130 mm
入力電圧		AC100 V x AC240 V	AC100 V x AC240 V	AC100 V x AC240 V	AC100 V x AC240 V
入力周波数		50 Hz x 60 Hz	50 Hz x 60 Hz	50 Hz x 60 Hz	50 Hz x 60 Hz
入力電流（最大）		1.50 A	1.60 A	1.70 A	1.50 A
出力電流（連続）		3.34 A	4.62 A	3.25 A	4.5 A
定格出力電圧		DC19.50 V	DC19.50 V	20 VDC/15 VDC/ 9 VDC/5 VDC	20 VDC/15 VDC/ 9 VDC/5 VDC
温度範囲：					
	動作時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
	ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

バッテリー

表 19. バッテリーの仕様

説明		値			
タイプ		42 Whr	51 Whr	68 Whr	68 Whr LCL
電圧		DC 11.40 V	DC 11.40 V	DC 7.60 V	DC 7.60 V
重量（最大）		0.20 kg (0.44 ポンド)	0.25 kg (0.55 ポンド)	0.34 kg (0.75 lb)	0.34 kg (0.75 lb)
寸法：					
	高さ	95.90 mm (3.78 インチ)	95.90 mm (3.78 インチ)	95.90 mm (3.78 インチ)	95.90 mm (3.78 インチ)
	幅	181 mm (7.13 インチ)	181 mm (7.13 インチ)	181 mm (7.13 インチ)	181 mm (7.13 インチ)
	奥行き	7.05 mm (0.28 インチ)	7.05 mm (0.28 インチ)	7.05 mm (0.28 インチ)	7.05 mm (0.28 インチ)
温度範囲：					
	動作時	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
	ストレージ	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
動作時間		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状

表 19. バッテリーの仕様（続き）

説明	値			
	況では大幅に短くなる可能性があります。	況では大幅に短くなる可能性があります。	況では大幅に短くなる可能性があります。	く消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。
充電時間（概算）	4 時間（PC の電源がオフの場合） ① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ja-jp で『私とマイデル』を参照してください。	4 時間（PC の電源がオフの場合） ① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ja-jp で『私とマイデル』を参照してください。	4 時間（PC の電源がオフの場合） ① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ja-jp で『私とマイデル』を参照してください。	4 時間（PC の電源がオフの場合） ① メモ: Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ja-jp で『私とマイデル』を参照してください。
寿命（概算）	300 サイクル（充電 / 放電）	300 サイクル（充電 / 放電）	300 サイクル（充電 / 放電）	1000 サイクル（充電 / 放電）
コイン型電池	CR2032	CR2032	CR2032	CR2032
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。

寸法と重量

次の表では、Latitude 5510 の高さ、幅、奥行き、重量をリスト表示しています。

表 20. 寸法と重量

説明	値
高さ：	
前面の高さ	20.98 mm (0.83 インチ)
背面の高さ	22.42 mm (0.88 インチ)

表 20. 寸法と重量（続き）

説明	値
幅	359.10 mm (14.14 インチ)
奥行き	236.25 mm (9.30 インチ)
重量 (最大)	1.82 kg (4.01 lb) <i>i</i> メモ: PC の重量は、発注時の構成や製造上の条件によって異なります。

ディスプレイ

表 21. ディスプレイの仕様

説明		Values			
タイプ		HD (ハイ デフィニション)	FHD (フル ハイ デフィニション)	FHD (フル ハイ デフィニション)	FHD (フル ハイ デフィニション)
パネル テクノロジー		WLED	WLED	WLED	WLED
輝度 (標準)		220 nits	220 nits	220 nits	300 ニット
寸法 (アクティブ エリア):					
	高さ	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)
	幅	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)
	対角線	394.91 mm (15.55 インチ)	394.91 mm (15.55 インチ)	394.91 mm (15.55 インチ)	394.91 mm (15.55 インチ)
Native Resolution		1366 x 768	1920 x 1080	1920 x 1080	1920 x 1080
メガピクセル		1.05	2	2	2
1 インチあたりの画素数 (PPI)		100	141	141	141
コントラスト比 (最小)		500 : 1	700:1	700:1	700:1
応答時間 (最大)		25 ミリ秒	25 ミリ秒	35 ミリ秒	35 ミリ秒
リフレッシュレート		60 Hz	60 Hz	60 Hz	60 Hz
水平可視角度		40°C (左/右)	80 度 (左/右)	80 度 (左/右)	80 度 (左/右)
垂直可視角度		10°C (上昇) / 30°C (下降)	80 度 (上/下)	80 度 (上/下)	80 度 (上/下)
ピクセルピッチ		0.252 x 0.252 mm	0.179 x 0.179 mm	0.179 x 0.179 mm	0.179 x 0.179 mm
消費電力 (最大)		4.2 W	4.2 W	4.2 W	4.6 W
非光沢 vs 光沢仕上げ		非光沢	非光沢	非光沢	非光沢

表 21. ディスプレイの仕様（続き）

説明	Values			
Touch のオプション	無	無	有	無

指紋認証リーダー

表 22. 指紋認証リーダー（電源ボタン）

説明	値
センサー テクノロジー	容量式
センサーの解像度	500 dpi
センサー領域	100 mm x 88 mm
センサーのピクセルサイズ	100 x 88

表 23. 指紋認証リーダー（パームレスト）

説明	値
センサー テクノロジー	容量式
センサーの解像度	508 dpi
センサー領域	12.8 mm x 18 mm
センサーのピクセルサイズ	256 x 360

セキュリティ

表 24. セキュリティの仕様

機能	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム ボード内蔵
指紋認証リーダー	オプション
くさび形ロックスロット	Standard (標準)

セキュリティ ソフトウェア

表 25. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
Dell Client Command Suite
オプションの Dell Data Security および管理ソフトウェア
Dell Client Command Suite
Dell BIOS 検証
オプションの Dell Endpoint Security および管理ソフトウェア
VMware Carbon Black エンドポイント スタンダード
Vmware Carbon Black エンドポイント スタンダード + Secureworks スレット ディテクション & レスポンス

表 25. セキュリティ ソフトウェアの仕様（ 続き ）

仕様
Dell Encryption Enterprise
Dell Encryption Personal
Carbonite
VMware Workspace ONE
Absolute® Endpoint Visibility and Control
Netskope
Dell Supply Chain Defense

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル：G1（ISA-S71.04-1985 の定義による）

表 26. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度（ 最大 ）	10% ~ 80% (結露なし)	0% ~ 95% (結露なし)
振動（ 最大 ）*	0.26 GRMS	1.37 GRMS
衝撃（ 最大 ）	105 G†	40 G†
高度（ 最大 ）	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10668 m (-50 フィート ~ 35000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

手順

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **製品サポート**をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、**送信**をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. **ファイルのダウンロード**をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブル クリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- [ブートメニュー](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ブート シーケンス](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [Windows での BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワンタイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。

キー	ナビゲーション
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：光学ドライブまたはハード ドライブ）から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト（POST）中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ（利用可能な場合）
- SATA ハード ドライブ（利用可能な場合）
- 診断
 - ① **メモ:** 診断を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

- ① **メモ:** お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 27. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 • システム情報：BIOS バージョン、サービスタグ、資産タグ、購入者タグ、製造日、購入日、エクスプレス サービス コードが表示されます。 • Memory Information：Memory Installed、Memory Available、Memory Speed、Memory Channel Mode、Memory Technology、DIMM A size、DIMM B size が表示されます。 • プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック スピード、最小クロック スピード、最大クロック スピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 • デバイス情報：プライマリ HDD、M.2 PCIe SSD-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラー、ビデオ BIOS バージョン、ビデオメモリ、パネル タイプ、解像度、オーディオコントローラー、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスが表示されます。
Battery Information	バッテリーの正常性ステータスおよび AC アダプタが取り付けられているかどうかが表示されます。
Boot Sequence (起動順序)	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。
UEFI Boot Path Security	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するように求めるかどうかを制御します。

表 27. 一般規定 (続き)

オプション	説明
	- Always, Except Internal HDD — デフォルト - Always, except internal HDD&PXE - Always (常に) - なし
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

システム情報

表 28. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	オンボード LAN コントローラーを設定できます。 - Disabled = 内蔵 LAN がオフのため、オペレーティング システムに認識されません。 - Enabled = 内蔵 LAN が有効です。 - Enabled w/PXE = 内蔵 LAN が有効です (PXE 起動)(デフォルトで選択)
SATA Operation	統合ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。 - Disabled (無効) = SATA コントローラは非表示 - AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み - RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするように構成されます (デフォルトで選択)
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 - SATA-2 (デフォルトで有効) - M.2 PCIe SSD 0 (デフォルトで有効)
Smart Reporting	このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。 Enable Smart Reporting (スマートレポートを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。
USB 設定	以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。 - Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) - Enable External USB Port すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Thunderbolt アダプタ設定	このセクションでは、Thunderbolt アダプタの設定を可能にします。 - Thunderbolt - デフォルトで有効 - Enable Thunderbolt Boot Support - 無効 - No security - 無効 - User configuration - デフォルトで有効 - Secure connect - 無効 - Display Port and USB Only - 無効
USB PowerShare	このオプションでは、USB PowerShare 機能の動作を設定できます。 Enable USB PowerShare - デフォルトで無効 この機能は、ノートブックがスリープ状態にある場合でも、ノートブックの USB PowerShare ポート経由で内蔵のシステム バッテリ電源を使用して、ユーザーが電話やポータブル音楽プレーヤーなどの外部デバイスへの電源供給や充電をできるようにすることを目的としています。
オーディオ	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。 Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションはデフォルトで選択されています。 - Enable Microphone (マイクを有効にする) - Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)

表 28. システム設定（続き）

オプション	説明
	両方のオプションがデフォルトで選択されています。
Keyboard Illumination	このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルを、0% ~ 100%の間で設定できます。オプションは次のとおりです。 • Disabled（無効） • Dim（暗い） • Bright - デフォルトで有効
Keyboard Backlight Timeout on AC（AC でのキーボードバックライトのタイムアウト）	Keyboard Backlight Timeout（キーボードバックライトのタイムアウト）は、AC オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。オプションは次のとおりです。 • 5 秒 • 10 sec - デフォルトで有効 • 15 秒 • 30 秒 • 1 分 • 5 分 • 15 分 • なし
Keyboard Backlight Timeout on Battery（バッテリーでのキーボードバックライトのタイムアウト）	Keyboard Backlight Timeout（キーボードバックライトのタイムアウト）は、Battery（バッテリー）オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。オプションは次のとおりです。 • 5 秒 • 10 sec - デフォルトで有効 • 15 秒 • 30 秒 • 1 分 • 5 分 • 15 分 • なし
Unobtrusive Mode（控えめモード）	• Enable Unobtrusive Mode - デフォルトで無効 有効にした場合、Fn+Shift+B を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。 Fn+Shift+B を押すと通常の動作に戻ります。
Miscellaneous Devices	次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。 • Enable Camera（カメラを有効にする）（デフォルトで有効） • Enable Hard Drive Free Fall Protection - デフォルトで有効 • Enable Secure Digital (SD) card - デフォルトで有効 • Secure Digital (SD) Card Boot（SD カード起動） • Secure Digital (SD) card Read-Only-Mode（SD カード読み取り専用モード）
MAC Address Pass- Through	• System Unique MAC Address - デフォルトで無効 • Integrated NIC 1 MAC Address • Disabled（無効） この機能により、外付 NIC の MAC アドレス（サポートされているドックまたは dongle のもの）がシステムから選択された MAC アドレスに置き換えられます。デフォルト オプションでは、パススルーの MAC アドレスが使用されます。

ビデオ

オプション 説明

LCD Brightness 電源（バッテリーおよび AC）に応じてディスプレイの輝度を設定できます。バッテリーおよび AC アダプタ用に LCD の輝度を別々に設定します。スライダを使用して設定できます。

 **メモ:** ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

セキュリティ

表 29. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-2 Password	このオプションでは、システムの内蔵ハード ディスク ドライブ（HDD）のパスワードの設定、変更、または削除を実行できます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。文字の範囲は 4 ~ 32 の間です。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password（システム（起動）パスワード）と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。 ● Disabled（無効） — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで有効化されています。 ● Reboot Bypass（再起動時にスキップ） — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします（ウォームブート）。  メモ: オフの状態から電源を入れると（コールドブート）、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes（管理者以外のパスワードによる変更を許可） - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
UEFI Capsule Firmware Updates	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されています。このオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service（LVFS）のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 Security	TPM（Trusted Platform Module）をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 ● TPM On（デフォルト） ● Clear（クリア） ● 有効なコマンドの PPI をスキップ ● 無効なコマンドの PPI をスキップ ● PPI Bypass for Clear Commands ● 有効な証明書（デフォルト） ● 有効なキーストレージ（デフォルト） ● SHA-256（デフォルト） いずれかのオプションを選択します。 ● Disabled（無効）

表 29. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	Enabled (有効) (デフォルト)
Absolute	このフィールドでは、オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、Enabled、Disabled、Permanently Disabled のいずれかに設定することができます。 - Enabled - このオプションはデフォルトで選択されています。 - Disabled (無効) - Permanently Disabled
OROM Keyboard Access	このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。 - Enabled (有効) (デフォルト) - Disabled (無効) - One Time Enable (1 回のみ有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Master Password Lockout	マスター パスワード サポートを無効にできます。この設定を変更する前には、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SMM Security Mitigation	追加の UEFI SMM セキュリティの軽減による保護を有効/無効にできます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

Secure Boot (安全起動)

表 30. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 Secure Boot Enable オプションが選択されていません。
Secure Boot Mode	UEFI ドライバ署名の評価または強制が可能になるように安全起動の動作を変更できます。 - Deployed Mode (デフォルト) - Audit Mode
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。 - PK (デフォルト) - KEK - db - dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。 Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。  メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

表 31. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
Intel SGX Enable	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ● 無効 ● 有効 ● ソフトウェア制御 (デフォルト)
エンクレープメモリサイズ	このオプションで、SGX エンクレープリザーブメモリサイズを設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ● 32 MB ● 64 MB ● 128 MB (デフォルト)

パフォーマンス

表 32. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。 ● All — デフォルト ● 1 ● 2 ● 3
Intel SpeedStep	プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 ● Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) このオプションは、デフォルトで設定されています。
C-States Control	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 ● C States このオプションは、デフォルトで設定されています。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 ● Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) このオプションは、デフォルトで設定されています。
Hyper-Thread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。

表 32. パフォーマンス（続き）

オプション	説明
	• Disabled（無効） • Enabled — デフォルト

電力管理

オプション

説明

AC Behavior

AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。

デフォルト設定：Wake on AC（ウェイクオン AC）は選択されていません。

Enable Intel Speed Shift Technology

- Enable Intel Speed Shift Technology

デフォルト設定：Enabled（有効）

Auto On Time

コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。

- Disabled（無効）
- Every Day（毎日）
- Weekdays（平日）
- Select Days（選択した日）

デフォルト設定：Disabled（無効）

USB Wake Support

USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。

メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。待機状態で AC 電源アダプタを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。

- Enable USB Wake Support（USB ウェイクサポートを有効にする）

Wireless Radio Control

この機能を有効にすると、有線ネットワークへのシステムの接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線（WLAN および/または WWAN）を無効化します。

- Control WLAN radio - 無効

Wake on LAN

LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。

- Disabled（無効）
- LAN Only（LAN のみ）
- LAN with PXE Boot（PXE ブート付き LAN）

デフォルト設定：Disabled（無効）

Block Sleep

このオプションでは、OS の環境でスリープに入ることを防ぐことができます。有効な場合、システムはスリープ状態にはなりません。

Block Sleep - 無効

Peak Shift

このオプションでは、ピーク時の AC 電源消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると、システムは AC に接続されている場合でもバッテリーのみで動作します。

- Enable peak shift - 無効になっています
- Set Battery Threshold（バッテリーしきい値の設定）（15 ~ 100 %）- 15 %（デフォルトで有効）

Advanced Battery Charge Configuration

このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。

Enable Advanced Battery Charge Mode - 無効になっています

Primary Battery Charge Configuration

バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは次のとおりです。

- Adaptive（適応）— デフォルトで有効
- Standard（標準）— 標準速度でバッテリーをフル充電します。

オプション	説明
	- ExpressCharge (高速充電) — デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。 - Primarily AC use (主に AC を使用) - カスタム Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。 メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定) オプションを無効にする必要があります。

POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Adapter Warnings	特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。 デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)。
Numlock Enable	コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。 Enable Network (ネットワークを有効にする)。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Fn Lock Options	ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。 - Fn Lock (Fn ロック) — デフォルトで有効に設定されています。 - ロックモード無効 / 標準 - デフォルトで有効 - ロックモード有効 / セカンダリ
Fastboot	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。オプションは次のとおりです。 - Minimal (最小) - Thorough (完全) — デフォルトで有効に設定されています - 自動
Extended BIOS POST Time	プレブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。 0 秒 - デフォルトで有効です 5 秒 10 秒
Full Screen Log Warnings and Errors	- 全画面のロゴを有効にする - 有効になっていません - 警告およびエラー時のプロンプト - デフォルトで有効です - 警告時に続行 - 警告およびエラー時に続行します

管理機能

オプション	説明
Intel AMT Capability	システムの起動時に、AMT 機能と MEBx ホットキー機能が有効になるようセットアップできます。 - Disabled (無効) - Enabled - デフォルト - Restrict MEBx Access
USB Provision	有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT をプロビジョニングできます。

オプション	説明
MEBX Hotkey	- Enable USB Provision - デフォルトで無効 システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。 - Enable MEBx hotkey - デフォルトで有効

Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	このフィールドでは、Intel Virtualization テクノロジーが提供する条件付きのハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology - デフォルトで有効に設定されています。
VT for Direct I/O	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM 仮想化テクノロジーとダイレクト I/O 用仮想化テクノロジーを有効にする必要があります。 Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。

ワイヤレス

オプションの説明

Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 - WLAN - Bluetooth すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
------------------------	---

メンテナンス画面

オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
BIOS Downgrade	ここで、システムファームウェアの以前のリリースへのフラッシングを制御します。[Allow BIOS downgrade (BIOS のダウングレードを許可)] オプションは、デフォルトで有効に設定されています。
Data Wipe	このフィールドでは、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去するかどうかを制御できます。[Wipe on Next boot (次回起動時に消去)] オプションは、デフォルトで有効に設定されていません。次に、対象となるデバイスのリストを示します。 - 内蔵 SATA HDD/SSD - 内蔵 M.2 SATA SSD - 内蔵 M.2 PCIe SSD - Internal eMMC
BIOS Recovery	このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。

オプション	説明
	• BIOS Recovery from Hard Drive (ハードドライブからの BIOS のリカバリ) — デフォルトで有効に設定されています。 • Always perform integrity check (常に整合性チェックを実行) — デフォルトで無効に設定されています。
First Power On Date	このオプションは、取得日を設定できます。 • Set Ownership Date - デフォルトで無効

システムログ

オプション	説明
BIOS Events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

Windows での BIOS のアップデート

前提条件

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップ ユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

このタスクについて

 **メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

手順

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、送信をクリックします。
 - [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

 **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の製品サポートページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**ファイルのダウンロード** をクリックします。
ファイルのダウンロード ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存** をクリックします。
12. **実行** をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

△ **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[[BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート \(英語\)](#)]

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

このタスクについて

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブート可能 USB フラッシュ ドライブに保存します。

i **メモ:** ブート可能 USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。さらなる詳細については、次の記事を参照してください。[[Dell Diagnostics Deployment Package \(DDDP\) を使用してブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成する方法](#)]

手順

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブート可能 USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ロゴが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB ストレージ デバイス**を選択し、[**Enter**]をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [**Enter**] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティーがロードされます。画面の指示に従います。

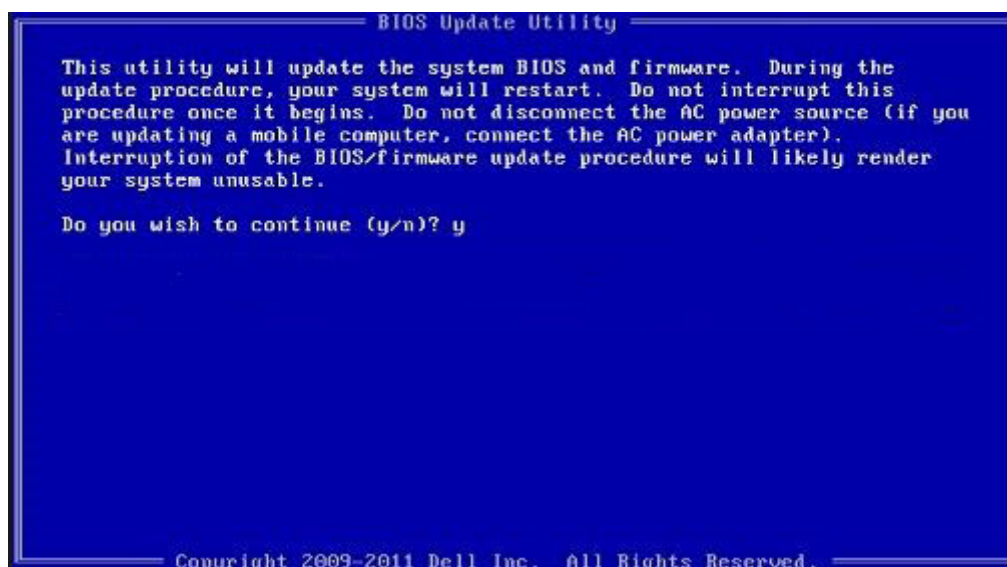


図 1. DOS の BIOS アップデート画面

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 33. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

注意: パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

▲ **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

①メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、**セキュリティ**を選択し、**Enter**を押します。
セキュリティ画面が表示されます。
2. システム/管理者パスワードを選択し、新しいパスワードを入力フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() \ () - \ () / \ () ; \ () [\ () \ \ ()] \ () ` \ ()
3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK**をクリックします。
4. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. Y を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

前提条件

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、システム セキュリティを選択し、Enter を押します。

システムセキュリティ画面が表示されます。

2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. システム パスワードを選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または Tab を押します。
4. セットアップ パスワードを選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または Tab を押します。

 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

トピック：

- [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

前提条件

-  **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

このタスクについて

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。